

日本混相流学会
2011 年度第 5 回理事会議事録(案)

日時： 2012 年 7 月 7 日 (土) 13:00-17:20

場所： 大阪市立大学文化交流センター小セミナー室

出席者：

佐田富道雄 (会長)、秋本肇 (筆頭副会長)、小泉安郎 (副会長) 木倉宏成 (情報部会長)、齊藤泰司 (企画部会長)、大川富雄 (国際部会長、関西地区担当)、川原顕磨呂 (総務部会長、九州地区担当)、市川直樹 (理事、関東地区・学生会担当)、内山知実 (理事、東海地区担当)、服部修次 (理事、北陸・信越地区担当)、加藤泰生 (理事、中国・四国地区、OMF 担当)、加藤健司 (選挙管理委員長)、呉田昌俊 (総務部会委員)、吉野正人 (2013 年会講演会実行委員長)、近藤健 (事務局長)

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2011-5-01]
2. 会長選挙の結果について [資料 2011-5-02]
3. 次年度理事・役員について [資料 2011-5-03]
4. 学会賞の選考結果について [資料 2011-5-04]
5. 情報部会報告
 - ①編集委員会報告 [資料 2011-5-05]
6. 企画部会報告
 - ①研究企画委員会報告 [資料 2011-5-06]
 - ②学生会報告 [資料 2011-5-07]
 - ③マイクロバブル・ナノバブルの標準化への道筋を検討するワーキンググループの進捗報告 [資料 2011-5-08]
7. 国際部会報告 [資料 2011-5-09]
 - ①ICMF2013 若手支援について
 - ②ICMF2013 の開催準備状況について
 - ③日欧二相流専門家会議の開催準備状況について
 - ④混相流計測技術国際シンポジウム 2013 の開催準備状況について
 - ⑤二相流ダイナミクスに関する日米セミナーの開催報告
8. 総務部会報告
 - ①2011 年度総会資料 [資料 2011-5-10]
9. 第 6 2 回理論応用力学講演会の O S 提案について [資料 2011-5-11]
10. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会
 - ①2012 年年会講演会・混相流シンポジウムについて [資料 2011-5-12]
 - ②2013 年会講演会開催地について [資料 2011-5-13]
11. その他
 - ①環境再生に向けた震災復興シンポジウムの開催報告 [資料 2011-5-14]
 - ②次回理事会の日程について

2012 年 8 月 11 日 (土) 場所：東京大学柏キャンパス

議事：

1. 前回議事録の確認

・資料 2011-5-01 に基づき、川原総務委員長から 2011 年度第 5 回議事録(案)の提案があり、案どおり承認した。

2. 会長選挙結果について

・加藤健司選挙管理委員長から、2012 年度会長選挙の開票結果について報告があり、承認した。

3. 次年度理事・役員について

資料 2011-5-03 に基づき、秋本筆頭副会長から説明があり、案どおり承認された。

4. 学会賞の選考結果について

・資料 2011-5-04 に基づき、秋本表彰委員長から学会賞の選考結果について説明があり、案どおり承認された。

5. 情報部会報告

編集委員会報告

・資料 2011-5-05 に基づき、木倉情報部会長から編集委員会および論文審査委員会の活動説明があった。

・精選論文集について発行年の編集ミスがあり、その対応を審議した。論文は発行された年を記載することを確認した。ミスがあった論文については、学会誌の会告においておよび対象著者に対して謝罪をすることとした。また、対象著者に対して発行年を修正した抜き刷り論文の PDF ファイルを送付することとした。また、J-Stage に掲載されている上記論文について、発行年を修正した論文を再登録できるか、正誤表を J-Stage の HP に載せることができるか等を尋ねることとした。

・論文の印刷において論文キャプションの欠落があったことが報告された。この再発防止として、掲載決定の論文について論文審査委員長からその著者に最終電子原稿の作成要領（PDF 作成ソフトのバージョンの推奨等）を案内することを了承した。なお、作成要領については編集委員会で議論することとした。

・学会 25 周年記念の特別記事として掲載予定の歴代会長座談会について編集委員会としての座談会趣旨（概要、背景）について説明があり、これを了承した。また、事前にこれらのことを座談会出席者に知らせていただくように佐田富会長より付言があった。さらに、原子力研究に関するこれまでの二相流研究についても触れていただくように小泉副会長からのコメントがあった。また、この座談会を含めた 25 周年記念事業に掛かる資金（50 万円程度）を次年度予算に計上することを承認した。

・検討中の英文の投稿表紙とテンプレートおよび外国からの入会についての申請書を、理事会によるメール審議後、ホームページに掲載することを了承した。

論文審査委員会報告

・資料 2011-5-05 に基づき、木倉情報部会長から論文審査委員会の活動説明があった。

・2012 年度の論文審査委員長、審査委員について説明があり、了承した。

6. 企画部会報告

①研究企画委員会報告

・資料 2011-5-06 に基づき、川原総務委員長（研究企画委員会幹事）から研究企画委員会の各分科会の 2011 年度の活動および今後の予定について報告があった。また、分科会「混相流のダイナミクス」の主査および幹事の交代について報告があった。

②学生会報告

・資料 2011-5-07 に基づき、市川学生会担当理事から 2011 年度の学生会活動状況（2011 年度学生優秀講演賞、修士論文・博士論文・専攻科学士論文の題目の学会誌掲載、混相流 25 周年特集記事、2012 年度優秀講演賞についての準備状況、今後の予定）について報告があった。

・2012 年会講演会終了後に開催される学生会夏季セミナーへの参加要請があった。

③マイクロバブル・ナノバブルの標準化への道筋を検討するワーキンググループの進捗報告

・資料 2011-5-08 に基づき、マイクロバブル・ナノバブルの標準化への道筋を検討するワーキンググループの進捗状況の報告があった。

7. 国際部会報告

①ICMF2013 若手支援について

・資料 2011-5-09 に基づき大川国際交流委員長から 2013 年 5 月 26～31 日、韓国チェジュで開催の ICMF2013 への参加若手（学会員、発表者）への資金援助についての提案があり、5 万円/人×5 人とすることを了承した。また、公募締切を 2013 年の 2 月中旬とし、申請時には論文 Draft の PDF ファイルを大川委員長に送付させることとした。国際交流委員会で支援者を選考し、理事会に報告することとした。

②ICMF2013 の開催準備状況について

・資料 2011-5-09 に基づき大川国際交流委員長から 2013 年 5 月 26～31 日、韓国チェジュで開催の ICMF2013 の開催準備状況について説明があり、準備状況は良好であることが報告された。なお、ICMF2013 の開催日が伝熱学会のシンポジウムのそれと重なっていると小泉副会長よりコメントがあった。そして、今後、混相流学会が関連する国内、国際会議等の情報を把握し、開催日が極力重ならないよう会議のオーガナイザの方々等に知らせていただくようにとの要請があった。

③日欧二相流専門家会議の開催準備状況について

・資料 2011-5-09 に基づき大川国際交流委員長から 2012 年 9 月 23～27 日、熊本で開催の日欧二相流専門家会議の開催準備状況の説明があった。

④混相流計測技術国際シンポジウム 2013 の開催準備状況について

・資料 2011-5-09 に基づき大川国際交流委員長から混相流計測技術国際シンポジウム 2013 の開催準備状況について説明があった。

⑤二相流ダイナミクスに関する日米セミナー開催報告

・資料 2011-5-09 に基づき大川国際交流委員長から 2012 年 6 月 7～12 日開催の二相流ダイナミクスに関する日米セミナーの開催報告、および本セミナー中に開催された「Special seminar on two-phase flow and heat transfer research post Fukushima accident」（本会主催、2012 年 6 月 11 日）について報告があった。これらセミナーの記事が学会誌に掲載されるとの報告があった。

8. 総務部会報告

2011 年度総会資料

・資料 2011-5-10 に基づいて、川原総務部会長から 2011 年度総会資料について説明があった。2011 年度事業報告および 2012 年度事業計画における年会講演会・混相流シンポジウムの記載についてコメントがあり、川原総務部会長と近藤事務局長で相談して修正案を作成することとした。また、年会講演会論文精選論文集の内容の記載の仕方について論文審査委員長に問い合わせることとした。加えて、2011 年度決算、2012 年度予算については最終データ確定後に作成すると報告があった。そして、修正した資料をメール審議することとした。

9. 第 6 2 回理論応用力学講演会の OS 提案について

・資料 2011-5-11 に基づいて、大川理事から第 62 回理論応用力学会の OS についての背景の説明があっ

た。そして、2013年3月6日～8日に開催の講演会において本会（副幹事学会）より1～2のOSを企画しなければならいとの報告があり、審議した結果、富山副会長（企画担当）と2012年度の道奥新副会長（企画担当）で相談していただき、案を新2012年度理事会で検討することとした。

10. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会

①2012年会講演会・混相流シンポジウムについて

・資料2011-5-12に基づき、市川理事から2012年度年会講演会・第31回混相流シンポジウム、および学生会夏季セミナーの準備状況について説明があった。

②2013年会講演会開催地について

・資料2011-5-13に基づき、吉野先生（2013年会講演会実行委員長）から2013年年会講演会の開催地について提案があり、開催地を信州大学長野（工学）キャンパス、開催期間を2013年8月9日（金）～11日（日）とすることで、承認した。なお、吉野実行委員長から講演論文集をUSBメモリに収録した形で刊行できないかとの相談があり、2012年度の新理事会について検討することとした。

11. その他

①環境再生に向けた震災復興シンポジウムの開催報告

・資料2011-5-14に基づいて、佐田富会長から「環境再生に向けた震災復興シンポジウム」の開催および会計報告がなされた。

②次回理事会の日程について

・次回理事会（2012年度第1回理事会）は、2012年8月11日（土） 場所：東京大学柏キャンパスにおいて開催することとした。

以上

総務委員長： 川原 顕磨呂